

## 内科医・外科医の大幅な刷新

院長 西土井 英昭

桜が咲き誇る中、新人が期待に胸を膨らませて鳥取日赤にやってまいりました。折しも新しい元号が「令和」と発表されたその日でありました。新人たちも令和元年入職ということで気合を入れて頑張ってくれると思いますのでよろしくお願い致します。

さて4月より当院の内科、外科の医師の顔ぶれが大幅に変更になりました。

内科では待望の呼吸器内科専門医が2名着任しました(中崎博文先生、田中那津美先生)。また糖尿内分泌内科も増員となり2名体制(松本和久先生、種田夏香先生)となりました。さらに腎臓病・消化器内科として竇意翔太郎先生が着任し、消化器内科医として荻原諒平先生が増員となりました。(田中副院長、満田、三村、山本、濱田の先生方は変わっておりません。)

外科では3月まで鳥取大学第一外科で准教授をされており、胃癌のスペシャリストで大学のロボット手術を一手に行っておられた齊藤博昭先生が筆頭外科部長として着任されました。さらにベテランの山田敬教先生、脂が乗ってきた村上裕樹先生、若手の牧野谷真弘先生の4名を新しく外科に迎えました。(西土井、山口、山代、前田の先生方は変更なしです)

診療機能としては呼吸器内科が整備された上に消化器、糖尿内分泌、腎臓内科が増員されたことにより内科全体の厚みが増し、消化器、呼吸器、循環器、腎臓内科、糖尿内分泌内科、神経内科と総合病院として診療機能が整ったと思います。そして外科系では当院は5年前から泌尿器科の前立腺がんに対してロボット手術を導入してきましたが、この度、胃がん、直腸がんに対しても保険適応が認められたため、外科でも導入することとしました。今年1月には手術支援ロボットを最新機種(ダヴィンチX)に更新し、直腸がんに対してロボット支援下内視鏡外科手術を導入しました。そして4月からは胃がんに対してもロボット手術を導入して患者さんにより低侵襲で高度な手術を提供していきたいと思っています。もちろん泌尿器科分野では5年の実績があることから、当院では前立腺がんはロボット手術が当たり前となっています。なお、鳥取県では現在まだロボット手術ができるのは大学と当院のみであり高度特殊技能と言えます。

日赤は昨年新病棟等を増改築し全く新しい病院となりました。そして外来棟は旧B館を改修して快適な外来機能を追加いたしました。現在国道沿いの旧A館を取り壊し中ですが、その跡地は駐車場や駐輪場を整備する計画です。皆様の信頼を得られるような病院作りを心がけていますので、これからも変わらないご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

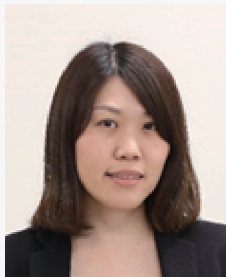


## 新任医師紹介



中崎 博文

【専門】呼吸器内科  
肺がん



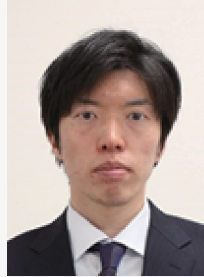
田中 那津美

呼吸器内科



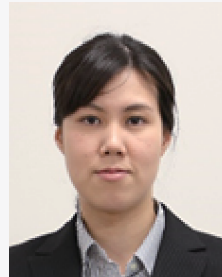
寶意 翔太朗

腎臓内科  
消化器内科



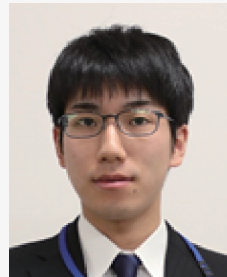
松本 和久

糖尿病・内分泌



種田 夏香

糖尿病・内分泌



荻原 諒平

消化器内科



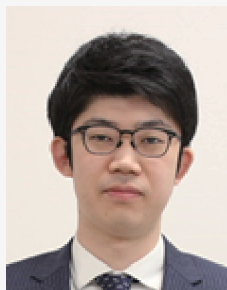
齊藤 博昭

【専門】消化器癌の  
内視鏡外科手術  
ロボット手術



山田 敬教

消化器外科



村上 裕樹

消化器外科



牧野谷 真弘

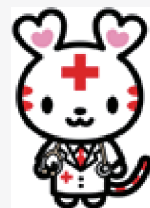
消化器外科



野内 直子

研修医

よろしく  
お願いします



## 10連休期間中の外来診療について

4月27日～5月6日までの連休期間中の外来診療は以下の通りとなります。

※4月30日(火)と5月1日(水)の2日間を開院  
(5月1日:血管外科、神経内科、脳神経外科、産婦人科、眼科は休診)

なお、開院中の予約外の方の初診料、再診料等につきましては、休日加算の適用になりますのでご承知おきください。



## 患者の皆様へ

鳥取赤十字病院は、地域の皆様に信頼される病院を目指しています。

当院は急性期の医療、専門的な医療を行っておりますが、地域医療支援病院として他の医療機関と連携を密にしておりますので、症状が安定された方はご希望に応じてかかりつけの医師や診療所に紹介させていただくことも可能です。

なお、その際も定期的な検査や病状変化の際は、当院が責任を持って診療いたしますので、ご安心ください。

